

令和2年度 河川水等ダイオキシン類測定分析結果について

【目的】

市内における水環境中のダイオキシン類による汚染状況を把握することを目的としている。
河川については、甲武橋(武庫川)、親水南公園(東川)、夙川橋(夙川)の3地点で水質・底質の測定を行った。

海域については、甲子園浜・香櫨園浜の2地点において水質・底質の測定を行った。

地下水については、生瀬町2丁目および名塩1丁目の2地点において水質の測定を行った。

【日時】

令和2年8月31日 河川3地点
令和2年8月31日 海域2地点
令和2年9月18日 地下水2地点

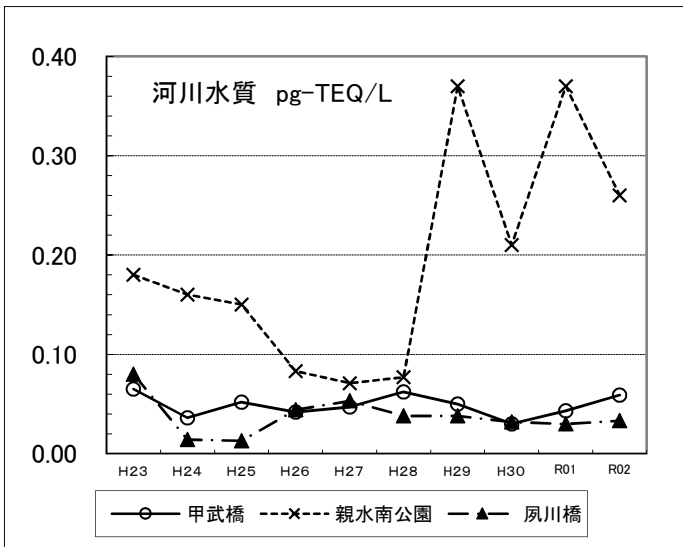
試料採取については、ステンレス製バケツ(水質)及びステンレス製スコップ(底質)を使用した。
なお、試料はステンレス製容器(水質)、広口ガラス瓶(底質)に保管した。試料の採取については当課職員立会いのもと、分析委託先である東京テクニカル・サービス(株)が実施した。

【測定場所】

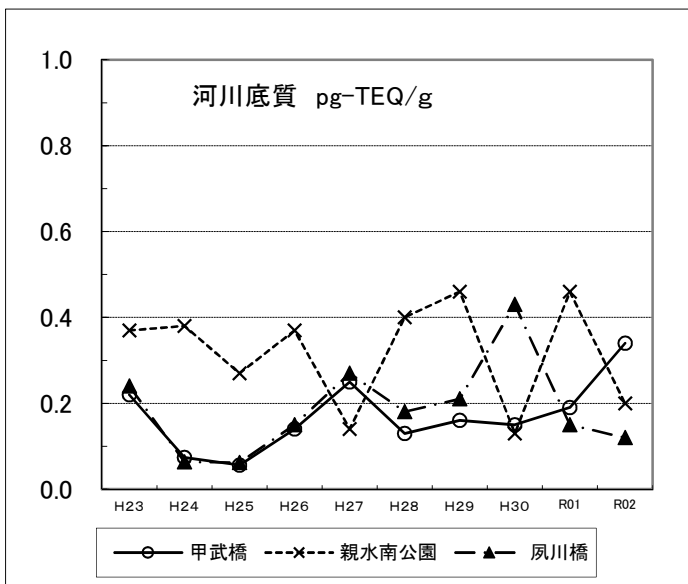
河川 3地点	① 甲武橋(武庫川)	上大市5丁目29
	② 親水南公園(東川)	津田町7
	③ 夙川橋(夙川)	神楽町7
海域 2地点	① 甲子園浜	基点:西宮内防波堤灯台から 60° 距離1460m
	② 香櫨園浜	基点:西宮内防波堤灯台から337° 距離2330m
地下水 2地点	① 生瀬町2丁目	
	② 名塩1丁目	

【令和2年度測定結果について】

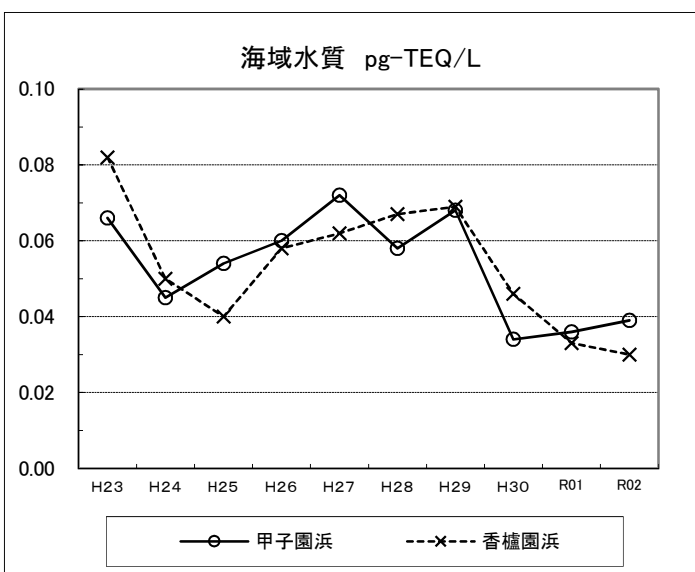
	水質				底質		
	浮遊物質 (SS) mg/L	pH	ダイオキシン類		強熱減量 %	ダイオキシン類	
			実測濃度 pg/L	毒性等量 pg-TEQ/L		実測濃度 pg/g	毒性等量 pg-TEQ/g
河川3地点							
① 甲武橋(武庫川)	9	8.8	33	0.059	0.7	62	0.34
② 親水南公園(東川)	8	9.3	500	0.26	0.4	300	0.20
③ 夙川橋(夙川)	<1	8.3	15	0.033	0.4	45	0.12
海域2地点							
① 甲子園浜	7	8.3	29	0.039	15.0	7000	9.7
② 香櫨園浜	5	8.2	16	0.030	19.2	12000	19
地下水2地点							
① 生瀬町2丁目	<1	7.0	74.0	0.074			
② 名塩1丁目	<1	6.8	1.8	0.026			
環境基準			水質DXNs	1	底質DXNs	150	



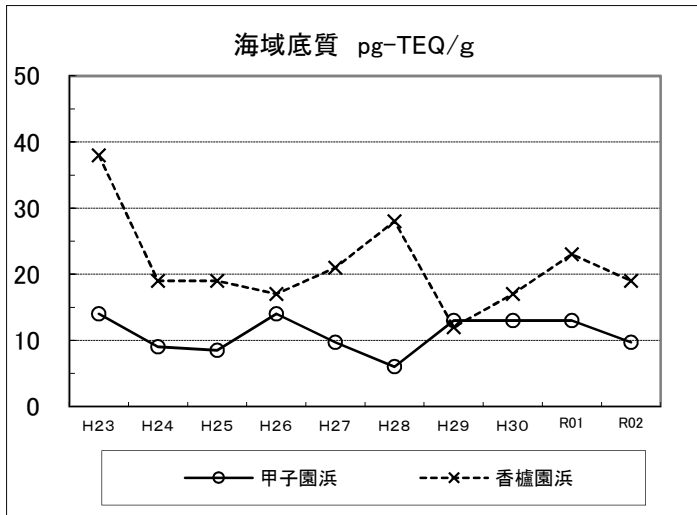
河川水質	甲武橋	親水南公園	夙川橋
H23	0.065	0.18	0.080
H24	0.036	0.16	0.014
H25	0.052	0.15	0.013
H26	0.042	0.083	0.044
H27	0.047	0.071	0.053
H28	0.062	0.077	0.038
H29	0.050	0.37	0.038
H30	0.030	0.21	0.032
R01	0.043	0.37	0.030
R02	0.059	0.26	0.033



河川底質	甲武橋	親水南公園	夙川橋
H23	0.22	0.37	0.24
H24	0.074	0.38	0.063
H25	0.056	0.27	0.062
H26	0.14	0.37	0.15
H27	0.25	0.14	0.27
H28	0.13	0.40	0.18
H29	0.16	0.46	0.21
H30	0.15	0.13	0.43
R01	0.19	0.46	0.15
R02	0.34	0.20	0.12



海域水質	甲子園浜	香櫛園浜
H23	0.066	0.082
H24	0.045	0.050
H25	0.054	0.040
H26	0.060	0.058
H27	0.072	0.062
H28	0.058	0.067
H29	0.068	0.069
H30	0.034	0.046
R01	0.036	0.033
R02	0.039	0.030



海域底質	甲子園浜	香櫨園浜
H23	14	38
H24	9.0	19
H25	8.5	19
H26	14	17
H27	9.7	21
H28	6.0	28
H29	13	12
H30	13	17
R01	13	23
R02	9.7	19

【考察】

河川3地点、海域2地点、地下水2地点全てにおいて、水質・底質ともに環境基準値を下回っていた。河川については、例年、親水南公園が他の測定場所と比べて水質・底質ともに高めの値が見られる。親水南公園の水質について、平成29年度～令和2年度の値と平成26～28年度の値を比較すると、平成29年度からの値が1桁高い値となっている。

海域については、水質はほぼ河川と同程度の濃度であるが、底質は河川と比べ高濃度で検出された。海域における底質はヘドロ質になっており、その粒径は河川と比べ非常に小さく、ダイオキシン類が付着しやすくなっているためと考えられる。

地下水の測定結果については、生瀬町2丁目で0.074pg-TEQ/L、名塩1丁目で0.026pg-TEQ/Lの値となった。いずれの値も環境基準値を大きく下回っていた。